

東京大学 大学院理学系研究科

物理学専攻 A7 サブコース

第7回 シンポジウム

生物物理学の新展開

2025年 5月2日(金) 16:50-18:15

東京大学本郷キャンパス 理学部4号館 1220 教室

東京都文京区本郷 7-3-1 最寄駅：丸ノ内線・大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅、千代田線 根津駅

TEL: 03-5454-6751

生物は物質で構成されている。したがって物理学を駆使して、生物やその根源にある生命を理解することができるはずである。この立場に立ち、生物物理学は、生命現象を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物・生命を捉える。さらに実験と理論の両アプローチから、生物・生命の普遍的理解を目指す学問である。

近年の技術革新などによって新展開を見せている
生物物理学研究の面白さを、
学部生にもわかりやすく解説します。



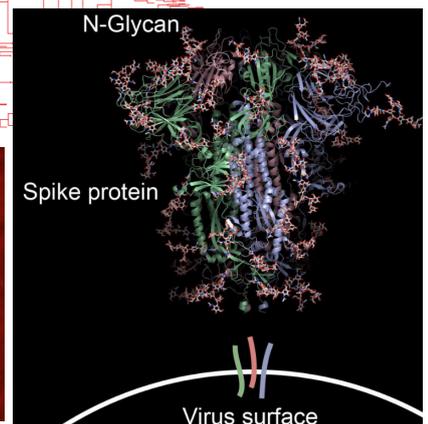
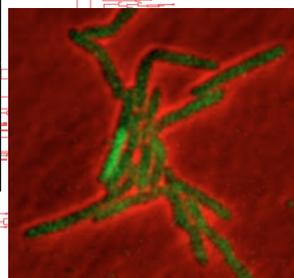
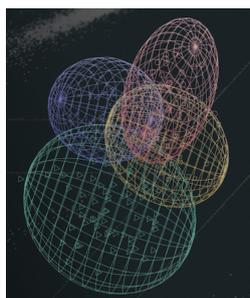
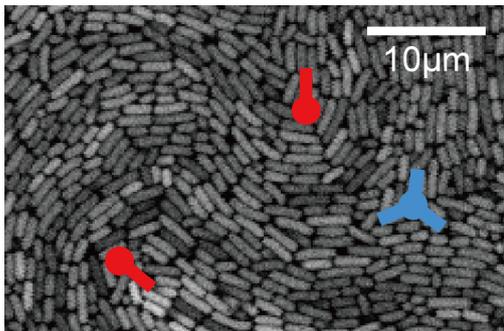
川口 喬吾 (A7サブコース) イントロダクション

竹内 一将 (A6サブコース) 生命のための物質科学:アクティブマター物理学

若本 祐一 (A7サブコース) 細胞の適応を支える遺伝子発現のシステム基盤

杉田 有治 (理化学研究所) 計算機シミュレーションで観る細胞内分子ダイナミクス

参加無料 学部生歓迎 終了後に懇親会あり



<http://webpark1926.sakura.ne.jp/A7/>